

令和5年度 中島小学校 学校経営の全体構想

学校課題

- ・真面目で素直な児童が多く、学習や様々な活動に前向きに取り組む。
- ・「あいさつ」「そうじ」「授業」「ボランティア」を中心として、よりよい学校生活を送ろうと諸活動に取り組むことができる。
- ・自ら課題をもち主体的に学ぼうとする意欲、困難に直面しても粘り強く取り組むたくましさや柔軟に対応するしなやかさといった点に課題がある。
- ・地域は、伝統を重んじる気風があり安定している。学校の教育活動に対しても協力的である。一方で、価値観の多様化や生活環境の変化も見られ、家庭や地域との連携の在り方を見直す必要がある。

市の方針と重点

- 【方針】◇学校の教育目標の具現に徹する学校経営をする。
- ◇全ての子どもたちが、自己の力を最大限発揮して、学ぶ意義や喜びを実感する。
 - ◇地域との関わりを大切に「子どもが主役となる」活動を実施する。
 - ◇いじめや問題行動の未然防止・早期発見に努め、早期対応を徹底する。
 - ◇不登校傾向のある児童生徒への早期対応や、学校復帰・社会的自立に向けた支援や働きかけを充実する。
- 【重点】①子どもたちが安全で安心して学ぶことのできる学校の環境づくり
②地域と家庭、学校が一体となって「生きる力」を育む教育の推進

【中島中学校区小中一貫教育目標】 夢や目標をもってたくましく歩み、地域を愛し、地域社会に貢献できる児童生徒

【学校の教育目標】 夢に向かって 歩み続ける 中島の子

中島小学校の「自慢づくり」 心のクローバー

心をつなぐ「あいさつ」 心をみがく「そうじ」 心を交わす「授業」 心を温める「ボランティア」

【令和5年度テーマ】 一人一人の「やってみたい」を引き出し、やってみる楽しさと喜びが広がる学校

経営の重点と具体的教育活動

学び合い きたえ合い（学力と体）

■自ら考え判断し、
学びに向かう子を育てる
確かな学力を身に付ける授業づくり
体力向上を実感できる取組の推進

- ・主題研の算数を中心に、児童が自ら選択したり表現したりすることを促す授業づくりをする。
- ・UDの視点をもち、「わかった」「できた」が実感できる授業づくりをする。
- ・ICT機器を活用して、一人一人の実態に合わせて基礎基本の定着や発展的な学習を行い、主体的な学びの姿の具現につなげる。
- ⇒「学習内容を理解している」児童90%以上
- ・「チャレンジスポーツinぎふ」に年間通して取り組み、体力向上を図る。
- ⇒「チャレンジスポーツinぎふ」への全学級登録

思いやり（心）

■一人一人の違いを認め合い、
思いやる子を育てる
自己指導能力を身に付ける
取組の推進

- ・児童の委員会活動により、「心のクローバー」の取組を推進する。
- ・児童集会を軸として、自己指導能力を身に付ける取組を推進する。
- ⇒「自慢づくりに取り組んでいる」児童90%以上
- ・全校集会の日を「クローバーの日」とし、命・心・人権について考える。
- ・児童の自己有用感を育むため、一人一人のよさや頑張りを認め合う活動に全校で取り組む。
- ・特別支援教育の視点をもった支援体制づくりをする。
- ⇒「学校に行くのが楽しい」児童90%以上

地域とともに歩む（地域）

■地域から学び、
自ら発信する子を育てる
家庭や地域とともに児童を育てる
教育活動の推進

- ・「中島小応援サポーター」として、保護者や地域住民から可能な形、方法で協力を得て教育活動や環境整備を行う。
- ・生活科及び総合的な学習の時間を中心に、地域人材を生かし、ふるさと教育を推進する。
- ・学んだことを、児童から家庭や地域に発信する活動を位置づける。
- ・HPやすぐーるを活用して積極的に学校の情報を発信し、情報を共有する。
- ⇒各教育活動への地域住民や保護者のボランティアによる協力実績

■一人一人の「やってみたい」
を引き出す教職員「チーム中島小」

- ・一人一人の個性を認める姿勢
- ・担当者として工夫・改善・創造
- ・こまめに「報告」「連絡」「相談」
- 声をかけ合い、よさを生かし合い、高め合う

- 命と安全を守る：一人一人の命の重みを知り、児童の命と安全を守るために行動する。
- 周りを笑顔にする：相手の気持ちを思いやり、相手のよさを見つけ、相手によさを伝える。
- 学び合い高め合う：互いの実践や強みを学び合い、指導力を高め合う。
- 業務改善に貢献する：課題意識と改善策をもち、働きがいのある職場づくりに貢献する。
- 信用信頼を守る：声をかけ合い、全職員で「不祥事をしない・させない」職場をつくる。